

お知らせ

同志社創立134周年記念 Reunion

同志社大学ホームカミングデー2009

“精神に帰る一日”

卒業生の皆様を思い出多き“今出川キャンパス”にお迎えし、旧師や旧友との再会、現役学生の活動をとおして母校との「絆」をより深めていただく機会となることを願い、10回目を数える「同志社大学ホームカミングデー2009」を開催いたします。

- ◆日時 2009年11月8日(日) 10時～16時45分
- ◆会場 同志社大学 今出川キャンパス

■主なプログラム■

- ・開会式 10:00～ 同志社礼拝堂 ・講演会 11:20～12:00 講師：八田英二学長
 - ・卒業生交流レセプション 12:30～13:45 (会費制)
 - ・野点 ・学生による模擬店 ・アトラクション ・記念撮影
 - ・施設公開 ・キャンパスツアー ・閉会式 16:30～
- *ご来場の同志社大学卒業生の方には、記念品をご用意しています。
*開会式・卒業生交流レセプションは、「同志社創立134周年記念リユニオン」と合同開催行事。
お問い合わせ先 同志社大学校友・父母課
TEL.075-251-3009/FAX.075-251-3097 E-mail. ji-koyu@mail.doshisha.ac.jp

第36回Neesima Room企画展

新島八重の生涯 —進取と矜持—

- 〈期間〉2009年10月1日(木)～2010年1月31日(日)
- 〈時間〉10:00～17:00 (土・日曜日は16:00まで)
- 〈場所〉Neesima Room (同志社大学今出川キャンパス・ハリス理化学館2階)
- 〈閉室日〉祝日、2009年11月29日、12月23日～2010年1月6日
- 公開講演会

詳細未定。決定次第ホームページでお知らせします。

お問い合わせ先

同志社社史資料センター Tel. 075-251-3042
E-mail:ji-shasi@mail.doshisha.ac.jp



読者のお便りから

○同志社の全体像が良くまとめられているのが素晴らしい。卒業して50年、いまになつて、よき大学、よき仲間にも恵まれたことを感謝しています。

(島原市 水田岑生)

○同志社時報124号に執筆された駒込武氏の論文は何回も繰り返し読んでいます。1年に1回同氏の論文(説)でも、エッセイ(随筆)でも同志社時報に掲載を希望します。温故知新をゆるがせにしてはいけません。

(龍ヶ崎市 高橋一樹)

○「アメリカカ研究所設立50周年記念」特集、佐藤優さんのレクチャー、文科省採択の質の高い大学教育推進プログラム(GP)にかかわるレポートなど盛り沢山の内容の127号。中でも「インテリジェンスと同志社精神」の佐藤氏のレクチャー、75歳の柔軟性にかけて頭だが、

考え思考しながら熟読。一昨年末に文芸春秋社から刊行された「私のマルクス」の一章にもあった「同志社大学神学部」の記述と重なり、改めて神学部学生の思考力に感心。「読者のお便りから」に掲載されていた村上恵一氏の自由聖餐の考え方の同志社出身牧師の評判が悪いとお説とどのように関連するのか難しい問題。佐藤氏を講師にしたのが立命館の方が早かったので悔しい思いをしていたが、今号の掲載でやっと安心した。

(神戸市 田中康稔)

○広い題材を興味深く配して内容の濃い冊子でいつも感心しております。表紙裏の裏先生のお手紙は凄いいんパクト、気魄を感じられます。

(東京都 渡辺妙子)

○プロ編集者、ジャーナリストの目からみて作りが良くありません。加えて字が小さすぎます。同志社に対する意見が画一的過ぎます。本当に同人誌のようで刺激がありません。

(東京都 長田貴仁)

○127号の佐藤優さんの講演はとても興味がありました。学生さんの感想はどうだったのでしょうか。なかなか難しい話だったようで何回も繰り返し読んでいます。ありがとうございます。

(大阪市 高木新一)

○127号読みました。内容が幅広くグローバル化しているように感じました。幼稚園、小、中、高校、大学と学校法人同志社の動きを細かく感じ取れる内容です。今号は「アメリカカ研究所50周年記念」の特集でした。興味深く読ませていただきました。毎号期待をもって読ませてもらっています。

(福岡市 辻村幸雄)